

9月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 74号

2023年11月7日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



決算審査：町民の暮らしは良くなった？

歳入 124億2302万円 歳出 117億1390万円

町民の暮らしは良くなった?

問われる
成果

決算は、1年間の予算執行の結果、「住民の暮らしがどのように向上したのか」を問うものです。令和4年度の決算について、人口減少対策やアウトドアライフ構想など町政の重点政策を中心に、子育て、観光、福祉など各テーマに関わる事業の成果を議会が検証します。

町政の重点政策

アウトドアライフ構想 人口減少対策

- ・グリーンスローモビリティ実証実験
- ・サイクルツーリズム実証実験
- ・海の観光拠点整備
- ・給食費補助/通学費補助
- ・修学旅行費助成 など

総括質疑

町政全般に関わることを問いました。

財政は健全か?

問 10年後、25年後、人口減少や物価上昇が町財政に与える影響をどのように考えているのか?

答 本町の財政は依存財源が約70%である。無駄を削減し、基金を蓄積している。新事業を開始する時には、古い事業の見直しも考慮しなければならない。

施策の効果測定は?

問 子育て世代の経済的負担軽減は、どのように効果測定を行っているのか?

答 効果測定はしていない。ただし、子育て世代の経済的負担軽減と出生率増加は、相関関係が認められている。

まの話題 「まの話題を募集します」 新しいお店情報や、おすすめスポットの紹介、地域のイベント情報など、みなさんからの情報提供をお待ちしています。お近くの議員まで。

議会の視点 決算認定するもなお課題あり

議会からの主な審査意見

【総合戦略課】

タレント(ガンバレルーヤ)を起用した観光広報事業を行っているが、現時点では県外へのPRにつなげにくいと思われる。今後、効果的な事業展開に取り組んでほしい。

【建設課】

名和公園のリニューアルは、整備後の町民の声を確認すべきである。成果を検証し、町民サービスに努めてほしい。

【企画課】

大山恵みの里公社の公益事業(1次産業の6次化)は、あまり機能していない。販路拡大まで注力するよう取り組んでほしい。

【観光課】

グリーンスローモビリティ実証実験の成果は非常に希薄だった。新規事業の策定は慎重に取り組んでほしい。

【健康対策課】

データヘルス計画など、若い世代に受診を促し、実情に合った目標値を定め健診率を上げることがを明示してほしい。

【社会教育課】

公民館事業について、高麗・大山分館の図書コーナーの蔵書が少ないので、図書の充実に努めてほしい。

討論

令和4年度
一般会計決算



「認定」

賛成 11
反対 3

【大森議員】 反対

同和対策関連事業は認めることができる。どういう状態になれば部落問題の解決といえるか、指標を設ける必要がある。

【杉谷議員】 賛成

執行部は、町民が安心安全に住める町として、非常に努力している。

【西本議員】 反対

海の観光拠点整備事業や電動マウンテンバイクの事業など、町民への説明不足や、町の方向性が不明な事業が多い。目標値なども定まっていないことが多く、成果を評価したい。

消費税インボイス制度 の中止を求める請願

「不採択」

賛成 3
反対 11

【豊議員】 賛成

インボイス制度は実質的な増税である。この不況下で、増税すべきでない。

【大森議員】 賛成

小規模事業者やフリーランス事業者など、弱い者いじめの制度には反対である。

【小谷議員】 反対

計画性の欠如が、今の大山町役場の大きな病だ。方向性が不明確なまま、予算が無駄づかいされている。町の課題は何で、何をめざして、どれだけやるか、予算策定時にしっかり考えてほしい。

【大杖議員】 賛成

議会は、次年度に向け慎重に研究調査して、予算に反映される意見を提言する立場であることを理解してほしい。

まの話題 映画「つつんで、ひらいて」 1万5千冊をデザインした男と、本をつくる人々のドキュメンタリーを、なかやま温泉で上映。11月11日(土)午前10時/午後2時、大人1000円、中学生以下500円。主催:ええがな大山実行委員会(0858-49-3330)

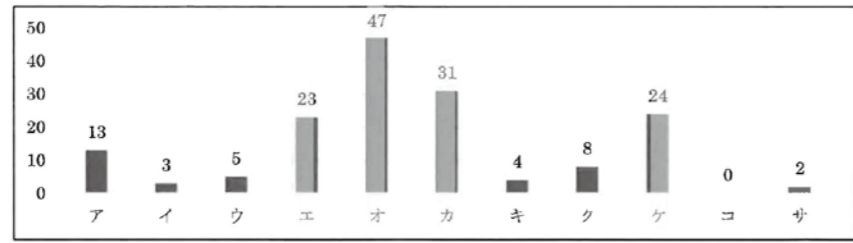
教育民生常任委員会決算審査

こども課 子育て世帯の経済的負担軽減

どこまでやるの経済支援!? 進学費用が不安との声も

決算額
7823万円

●子育てでは、どのようなことが家計の負担になっていると思いますか。
(複数回答) こども課資料



- ア 保育所・幼稚園の保育料
- イ 小学校就学期に必要な費用
- ウ 中学校就学期に必要な費用
- エ 高校就学期に必要な費用
- オ 大学・大学院就学期に必要な費用
- カ 食費、衣服等の生活必需品の費用
- キ 医療費
- ク 家族で過ごすための娯楽費
- ケ 塾や習い事の費用
- コ 特に負担になっていることはない
- サ その他(1票:生活全般、保険料)

子育て世代の経済的負担軽減事業

- 高等学校通学定期乗車券購入補助金 約 1058 万円
- 修学旅行費助成金 約 701 万円
- 学校給食費補助金 約 6064 万円

質疑応答

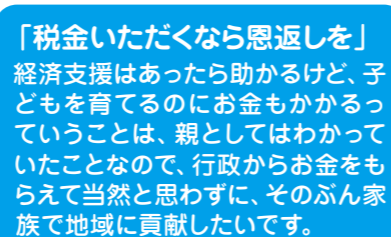
- 【問】大学や高校入学の際の支援の検討は。
- 【答】検討していない。
- 【問】どの年齢までのこどもに支援をするのか、すみ分けはできているのか。
- 【答】ほかの課と連携しながら検討していく。

町民の声



中川秀子さん
(南御崎)

「食べ盛り期には食費が倍」
高校大学もお金がかかるけど、家庭での食費も結構かかります。子ども達が大きくなって別に暮らしているのでも減りましたが、ピーク時は消費が倍でした。



中川直樹さん
(ナスパルタウン)

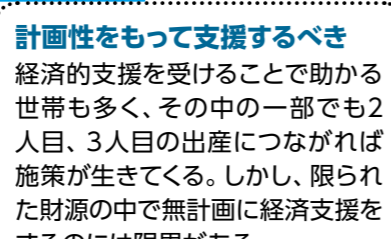
「税金いただくなら恩返しを」
経済支援はあったら助かるけど、子どもを育てるのにお金もかかるってことは、親としてはわかってきたことなので、行政からお金をもらえて当然と思わずに、そのぶん家族で地域に貢献したいです。

議員はこう見る!



近藤議員

定住対策として効果はあるのか
本町が少子化対策に取り組む必要性は、集落の担い手が不足しているからです。6064万円の給食費助成が少子化対策・定住対策に効果的なのか、疑問に思います。



西本議員

計画性をもって支援すべき
経済的支援を受けることで助かる世帯も多く、その中の一部でも2人目、3人目の出産につながれば施策が生きてくる。しかし、限られた財源の中で無計画に経済支援をするのには限界がある。

大山 トリビア 「テメキュラ交流30周年」 テメキュラ市はロサンゼルスに近く、ワイナリーなど農業も盛んなまち。中山町の国外派遣事業がきっかけで、平成5年に中山中学生がテメキュラ市を訪問、同年、中山町との姉妹都市につながった。

教育民生常任委員会決算審査

健康対策課 国民健康保険診療所特別会計決算

直営診療所は今後も必要か? マイナス収支、民間とのすみ分けは

決算額
3億1140万円

	実質収支	目標
大山診療所	約▲862万円	達成
大山口診療所	約▲398万円	達成
名和診療所	約▲945万円	未達成

- 成果
- 1、診療報酬 約 280 万円増
 - 2、医療材料代 約 800 万円減
 - 3、財源補填額 約 1100 万円減



質疑応答

- 【問】大山・大山口の診療所は目標より赤字幅が減っている原因は。
- 【答】診療報酬の増や外来件数の増、ジェネリック医薬品の積極的活用などである。
- 【問】名和も赤字幅が減ってはいるが、目標値未達成の原因は。
- 【答】外来件数が少ない、ほかに民間の医療機関があることも原因としてある。

議員はこう見る!

地域医療は絶対に必要だ
年を取ってからは近くの医者がいまいと、かかりつけ医を米子から直営診療所に変えた人もいる。赤字幅が大きくなり、利用者も少なくなる際には地域の人々がどのくらい本気で残そうとするかが大事な。



杉谷議員

本来の役割を明確に
大山診療所は健診に力を入れるとのことだった。町長が変わり考え方も変わってきている。収支の改善はあると感じるが、赤字幅の許容範囲をきちんと決めるべき。



米本議員

町民の声

「方向性に注目」
以前、大山診療所の存続を前提に、2000万円で購入した機器を導入したことを知り、その判断の順序に疑問を感じました。本来、診療所が地域にどれだけ役立ち、健康増進に貢献しているのかを基に、存続の判断をするべきだと私は考えます。今後、診療所の方向性に注目していきます。



赤川勲永さん(樋口)

大山 トリビア 「サインノ神」 町内の集落ではなじみのあるサインノ神さん。県西部には多く見られるものの、西日本の他府県にはほとんど存在しません。東日本では長野県に多くありますが、なぜ大山周辺に……謎です。

建設課

名和公園整備工事事業

公園利用者は満足しているか?

決算額 5779万円

どんな事業?

名和公園の遊具などの老朽化によるリニューアル工事を行った。

きっかけは?

令和元年に、テゴテゴプロジェクト中学生議会を開催した際に、中学生から名和公園整備について提案。

その後、アンケートなどで町内の小中学生の意見を収集。地域自主組織「支えあいのまち御来屋」とも連携して企画をまとめた。



質疑応答

【問】リニューアル後の名和公園について住民の満足度は。

【答】完成後にアンケートなどはとっていないので満足度の確認はしていない。

【問】アンケート調査は今後する予定はないのか。

【答】建設課の役割としてはハード部門だと認識している。アンケート調査のようなソフト事業にはなかなか行き届かないのが現状だ。そのあたりを行政内部でどのように整理していくかは課題である。

議員はこう見る!

プロセスが評価できる 子どもたちや御来屋まちづくりが参画してつくられた点は評価できる。予算制約の中でつくられた車椅子対応の砂場も喜ばれている。観光地としての更なる発展も期待している。



島田議員

事業の効果検証が必要だ 公園のような住民のための施設では、実際に利用した町民の評価を取り入れて成果を検証することが不可欠だ。ほかの部署との連携を深め、公園の管理運営に町民の声が反映されることを期待する。



豊議員

町民の声

「利用しやすい公園」ブランコが2種類あり、スロープも設置されていて、子どもからお年寄りの人まで利用しやすい公園だと思います。



岡田真実さん (ひかりが丘)

用語解説 「データヘルス計画」 健康寿命延伸のための事業。国は、国保はじめ全ての健康保険組合に、健診データなどの分析に基づくデータヘルス計画の作成、特定保健指導などの取り組みを求めている。

観光課

グリーンスローモビリティ実証実験事業

実証実験でなにがわかったのか?

決算額 319万円

どんな事業?

グリーンスローモビリティが、新たな観光資源となりうるか検証を行った。タクシー会社に委託をして、夏から紅葉シーズンにかけて大山寺エリアで30日間、料金無料で試験運行をした。※時速20km未満で走る電動車を活用した移動サービスです。



実験の成果は?

紅葉シーズンなど繁忙期の土日祝日しか採算ラインに届かないことがわかった。

その後の展開は?

実証実験を行ったタクシー会社は「行政支援がなければ取り組めない」という結論に至った。

質疑応答

【問】今回の実証実験の目的は何か?

【答】どういうコースをどうするかたちで運行すればよいかを確認するため。

【問】実証実験後、民間事業者は運行していない。行政支援はしないのか?

【答】行政支援はしない。あくまで民間事業者に独立採算でやってもらいたい。

議員はこう見る!

目的のない実験は無意味だ 実証実験の目的が明確ではなかった。行政支援をしない前提ならば、民間事業として成立する単価、客数、年間売上など、仮説をつくった状態で実験スタートしなければ、次にはつながらない。



小谷議員

町民の声

「観光地には必要」急坂の参道のため、足の不自由な人や高齢者の観光客は参拝を諦めることが多いです。観光地として、このような乗り物は必要だと思います。



田口智子さん (観光案内所スタッフ)

「複雑な気持ちです」大山寺参道を車が行き来するのは、複雑な気持ちです。本音を言えば、できれば歩いてほしいです。



吉野俊子さん (大山)

大山トリビア 「高杉神社のうわなり神事」 大山町宮内の高杉神社では、うるう年にうわなり神事が行われます。うわなりとは後妻のこと。孝霊天皇のエピソードに由来する不思議な神事は、大山と孝霊天皇の関係を感ぜさせます。

Aコープ閉店問題

全会一致で可決 買い物環境整備を求める決議

Aコープ名和店周辺は、役場本庁舎はじめ農協、商工会、銀行、郵便局、病院、診療所なども立地する、まさに大山町の中心部です。
名和ICも近く、Aコープ名和店の閉店は、単に買い物不便になることに留まらず、商工業の衰退や、移住定住者の減少にもつながることが懸念されます。このようなことから、議会では、次の事項を決議し町長に対応を求めました。



令和6年1月末の閉店が決まった

旧名和町地区の買い物環境整備を求める決議

大山町内の経済事業活動の振興、移住定住促進のため、大山町の中心部にスーパーなど小売事業者の出店を促すよう、出店事業者の見込みがないことが明確になった場合、大山町行政として措置の検討を要望する。

一目でわかる審議結果

7月臨時会
9月定例会

○主な議案 (賛否の分かれた議案など)

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果	
令和4年度大山町歳入歳出決算																	
一般会計決算 歳入額約124億円に対し、歳出額約117億円。 いずれも前年度対比で減となりました。		×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定 (賛成11人)
条例改正																	
大山町印鑑条例の一部を改正する条例 全国のコンビニで、従来のマイナンバーカードに加え、電子証明書を搭載したスマートフォンでも利用できるようになる。(印鑑登録証明、住民票の写し)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
大山町特別医療費助成条例の一部を改正する条例 満18歳に達する日以降の最初の3月31日まで、医療費を完全無償化する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
請願 ※請願とは・・・国や地方公共団体に意見や要望を行う方法で、議員の紹介が必要である。																	
消費税インボイス制度の実施中止を求める請願 (紹介議員:大森正治) 総務経済常任委員会に審査を付託		×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成3人)
発議案 ※発議案とは・・・議員または委員会が条例の改正、意見書の提出などを議会に提出した議案。																	
旧名和町地区の買い物環境整備を求める決議 総務経済常任委員会から発議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)

○その他の全会一致で可決した議案

7月臨時会……財産の取得(1件)、補正予算(1件)
9月定例会……条例改正(2件)、財産の取得(1件)、令和4年度特別会計決算(13件)、補正予算(6件)
議案などの採決は、米本隆記議長を除く14人で行います。

用語解説 「インボイス制度」 売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額などを伝えるための請求書制度。
売上1000万円以下のこれまで免税されていた事業者も、登録すると消費税課税業者になり、納入の必要があります。

12人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。
議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 職員のやりがい向上の人材育成は	杉谷 洋一
10	1. 安心安全な道路管理を	池田 幸恵
	1. 大山町の学校教育の現状と課題は	吉原美智恵
11	1. 教育3本柱の成果を問う 2. 宿題は本当に必要なのか	西本 憲人
	1. 公共施設の防犯対策は 2. 燃油高騰対策の拡充を	門脇 輝明
12	1. 移住施策について	豊 哲也
	1. 「アウトドアライフ構想」は、役場職員と町民にとって、具体的かつ魅力的なプランとなっているのか。	小谷 英介
13	1. Aコープ名和閉店の影響について	大原 広巳
	1. Aコープ閉店に伴う買い物難民支援策について	島田 一恵
14	1. 「平和資料室」で戦争体験の継承を 2. 公共施設に町民が使えるコピー機の設置を 3. 子どもが多いほど高くなる国保税、救済の手を 4. 広域ごみ処理施設は再検討が必要では	大森 正治
	1. 本町の人口動向をどう捉えているか 2. 健康長寿・生涯現役のまちを目指して	岡田 聡
	1. 女性リーダー養成について 2. 重層的支援体制整備事業について	近藤 大介

【杉谷】 職員が仕事に、やりがいを感じる職場は。 地域貢献が実感でき、専門分野の研鑽や自己の能力開発などが重要である。
【杉谷】 人事評価は職員を育成するための制度になっているか。
【町長】 職員が作成している目標成果シート、異動や昇任希望などの自己申告書を人事異動などの参考としている。また、人材採用や育成の人事戦略の見直しを検討している。
【杉谷】 職員を育成する研修制度の充実は。
【町長】 町や県などの研



やりがいを感じる職場を

職員のやりがい向上の人材育成は 町長 人事戦略の見直しを検討している



修がある。見聞を深める先進地視察も有意義で、本町への還元が重要と考える。
【杉谷】 職員のアイデア提言制度の成果は。
【町長】 職員の提案は随時実施し、令和4年度は優秀施策の8件を表彰し、その実現に向け調整を進めている。
【杉谷】 Uターン促進や活性化につながる職員の中途採用は。
【町長】 実施していないが、町独自の採用試験に枠を設けることを検討する。

中山間地の

道路維持は

町長 要望があれば
対応する



池田幸恵 議員

【池田】路肩の伐採の高さや路肩の刈り取り範囲の規定は。

【町長】高さの規定はなく、刈り取り範囲は1m程度としている。

【池田】道路維持作業は、どのような作業計画なのか。

【町長】作業計画は策定している。

確認は年2回の草刈りと、現場に行く時などにしている。

【池田】確認場所が限定されている。

中山間地の小集落や住民の高齢化などで声が届かない場合は。

【町長】自治会や集落からの要望、住民からの



管理が行き届かない町道

通報や巡回などにより危険箇所があれば都度対応していきたい。

【池田】数年前も同じ内容の一般質問がされているが、現状は変わっていない。

住民のライフラインにもつながるものですが、優先的な整備と

計画性を持つての作業が必要ではないのか。

【町長】その都度の対応をしていく。

【池田】草刈りや道路維持への要望方法をもっと広報しないか。

【町長】区長会や広報などを通じていく。

学校教育の

現状と課題は

教育長 事業の効果的な
活用の検討が必要だ



吉原美智恵 議員

【吉原】GIGAスクールの取り組みは。

【教育長】児童生徒へのタブレット配置は完了している。

有効な活用方法の検討が課題だ。

【吉原】全国学力テストの結果で、県の中学英語が平均を大きく下回り、県教委は課題として受け止めているが、本町ではどうか。

【教育長】課題を認識しており、対策を検討し実施している。

【吉原】ALT（外国語指導助手）が各学校に一人配置されたが、言語活動が弱いのではないか。



どの子も輝く教育を

【教育長】ALTの効果的な活用は今後の課題であり取り組みの重点である。

【吉原】不登校児童生徒のサポート体制は。

【教育長】町教委支援センター・寺子屋で、学校復帰や学習サポートをしている。

【吉原】寺子屋の成果は認めるが、文科省では空き教室を活用し校内でのフリースクール設立に補助する方針が出された。検討は。

【教育長】効果やニーズがあるのか検討を重ねていく。

宿題は本当に

必要なのか

教育長 基礎学力定着の
ためには欠かせない



西本憲人 議員

【西本】調べによれば、宿題や家庭学習の縮減・廃止が学力低下をもたらす十分な証拠はない。

宿題の必要性は。

【教育長】夏休みの宿題は1学期の復習のために、普段の宿題はその日の学力の定着のために必要である。

宿題をなくして学力が伸びることは考えにくく思っている。

【西本】学校教育が家庭に依存することへの不平等を指摘する論文もあるが、見解は。

【教育長】学校は家庭に学力とか宿題を押し付けているわけではなく、一緒に子育てを

しているわけではなく、一緒に子育てを



わくわくする学びを大切に

してこういうというスタンスである。

【西本】そのスタンスが伝わるような説明とコミュニケーションが必要と感じないか。

【教育長】学校側でしっかりと保護者に説明をしていく必要がある。

そのほか、教育の3本柱「保小中の連携・英語教育・ふるさと大山教育」の理想のゴールなどを確認した。

その理念は理解したが、それにもなう数値目標などが不足していることを指摘した。

燃油高騰対策の

拡充を

町長 全体的な支援策が
適切と考える



宮城輝明 議員

【門脇】ガソリンや灯油、生活必需品などの値上がりが続いている。年金生活者にとって、冬を越すための暖房用灯油代は心配の種だ。

今回の補正予算には、町民税非課税世帯を対象に、7月～9月分は月額5666円、10月～3月分は月額25000円の助成金を計上している。

2500円は18L入りの灯油缶2本分にも満たない金額だ。伯耆町では、全世帯に2万円を助成するとも聞いている。

今後の物価上昇に対応して、助成額を増額

することを考えられないか。

【町長】物価・燃油高騰は、全世帯に影響しているため、全体の支援策がより適切ではないかと考えている。今回の助成制度とは別に、全体的な政策もじっくり考えていきたい。

このほか、宮城県であった学校への軽トラ侵入事件を受け、公共施設の防犯対策や防犯が適切に行われているか質問した。

町長・教育長は現場を点検し、必要な整備を進めたいと答えた。



2本分にも満たない助成

大山口駅前住宅地の課題解決策は

町長 江東川などへの排水を検討する



【豊】民間の賃貸物件を促進する手だてを講じているか。

【町長】可能性を追求し、賃貸住宅が増えるような制度ができないか研究をしていきたい。

【豊】大山口駅から大山インター周辺まで、新規分譲地が人気のエリアに成長してきたが、下流集落の排水許容量が課題になりつつある。解決策は。

【町長】江東川などの河川に排水できないか検討する。

【豊】都市計画や、それ



急がれる排水対策

に準ずるものを検討しているか。

【町長】町全体の調和がとれるように、今後しっかりと情報共有などを含めて進めていきたい。

【豊】商業等用地造成事業の進捗は。

【町長】どのエリアがより適切なのかを検討し

ている。

【豊】空き家利活用において、不動産業者との連携を。

【町長】町内に進出する話があれば、積極的に連携していきたい。

町長 組織として構想を策定している



【小谷】竹口町長が推進する「アウトドアライフ構想」に疑問を持っている。

この構想をつくるプロセスに町民が関与していない。町長のワシマン的な町政運営を象徴している。職員は構想に納得しているのか。

【町長】この構想は役員職員との意見交換を経て組織的に作成したものだ。独断的につくったものではない。

【小谷】町民が関与していないため、結果として「サイクリングで健康増進」「免許返納後の高齢者が、自転車や電車に持ち込んで通院でき

るように」など、町民の多くが求めてない施策の検討につながっているのでは。

【町長】サイクリングはアウトドアライフ構想の目玉事業ではない。具体的な取り組みは現在、検討している。

【小谷】町民も巻き込む

べきだ。例えば、釣りがコメ作りなど、町民の暮らしになじみのあるアウトドアがもっとあるはずだ。

【町長】町民にとって良かったと言ってもらえるように努力をしていきたい。



約40万円の自転車は必要だったか

Aコープ閉店の対応は

町長 公共交通の利便性を検討する



【大原】3町の合併で、旧名和町地区が本町の中央になった。

今後名和地区にはさまざまな機関の集約が予測される。

地区内にスーパーがなくともよいのか。

【町長】町内にまだ2店舗ある状況で、進出するスーパーだけ特別な支援策をするのはむずかしい。

引き続き、民間事業者の動きを注視していく。

【大原】Aコープの事業継承の交渉には、関与しないほうがいいか。

【町長】町内から店舗がなくなってしまうのでは



中心部がさびれないか

ないでむずかしい。大事なのは、名和地区で店舗を残すということではない。買い物に困る人が出ないようにすることだ。

【大原】買い物難民対策に具体案はあるか。

【町長】例えば、公共交通の経済的負担を軽減

するとか、バス停方式のデマンドバスをドアツードア方式にしているなど、今後、タクシー業者と検討していく。

これにより、町内全域の買い物難民対策となることをめざす。

アウトドア構想はワシマン町政の象徴だ

町長 組織として構想を策定している



【小谷】竹口町長が推進する「アウトドアライフ構想」に疑問を持っている。

この構想をつくるプロセスに町民が関与していない。町長のワシマン的な町政運営を象徴している。職員は構想に納得しているのか。

【町長】この構想は役員職員との意見交換を経て組織的に作成したものだ。独断的につくったものではない。

【小谷】町民が関与していないため、結果として「サイクリングで健康増進」「免許返納後の高齢者が、自転車や電車に持ち込んで通院でき

るように」など、町民の多くが求めてない施策の検討につながっているのでは。

【町長】サイクリングはアウトドアライフ構想の目玉事業ではない。具体的な取り組みは現在、検討している。

【小谷】町民も巻き込む

べきだ。例えば、釣りがコメ作りなど、町民の暮らしになじみのあるアウトドアがもっとあるはずだ。

【町長】町民にとって良かったと言ってもらえるように努力をしていきたい。

買い物難民の支援策は

町長 公共交通の支援で買い物を維持する



【島田】Aコープ閉店後の支援策は。

【町長】撤退後の空き店舗に対する新規参入事業者への支援は考えていない。

車で買い物に行けない人を対象にデマンドバスの利用料金支援策を考えている。

【島田】利用料金は無料にできないか。

【町長】自治体としてはやってもいいと思うが、国や県からの財源が入っているので無料はむずかしい。

【島田】デマンドバスのルート変更は。

【町長】ルートの見直しは必要だが、令和6

年度に向けて制度への見直し、集落内の乗降場所を検討したい。

【島田】買い物専用バスの運行は。

【町長】車両や運転手の確保にもなう費用面など、大きな負担となるため、デマンドバスの活用を進めることで

対応する。

【島田】少人数のグループによる買い物タクシーの運行は。

【町長】新たな制度としてタクシーを導入するのではなく、既存のタクシー助成制度の拡充を支援のひとつのツールとして検討していく。



公共交通の拡充を

子育て世帯の国保税に助成を

町長 公平性の観点からできない



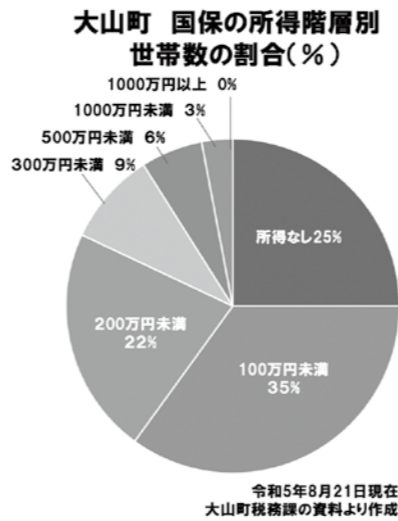
おもしろいじ 大森正治 議員

【大森】国保税が高い要因は何だと考えるか。
【町長】ほかの健康保険は、加入者が若く保険の利用が少ないので保険料が安くなる。
【大森】国保加入者の所得が200万円以下の低所得世帯が82%も占めるために、負担が大きく滞納も多い。
国保税均等割は子どもにも年間3万円以上かかるので、子育て支援として助成しないか。

【大森】加入者にとって大変な国保だから、救済の手を差し伸べることはむしろ公平だ。制度的にできないということがあるか。
【町長】国の基準を超えて独自に保険税の減額を条例で定めることはできない。

ほかに、戦争体験の継承のために、町内にある資料を一カ所に集めて「平和資料室」を設置するよう求めた。
また、西部広域の大型ごみ処理施設建設の問題点について質問した。

【町長】町の財源を使って支援することは、ほかの健康保険の加入者からすると、二重の負担になり、公平性の理解がえられない。



低所得世帯が82%の国保

子育て支援の課題は

町長 政策を総合的に展開することだ



おもしろいじ 岡田 聡 議員

【岡田】少子高齢化による人口減少は、日本の大きな課題である。本町の状況はどうか。
【町長】直近3年間の出生者数は70人前後で横ばいに対し、死亡者数は約300人であり自然減は続く状況である。

【岡田】子育て支援は充実してきているが課題は。
【町長】少子化を支えるために、地域の繋がりの潜在的な力を生かしていく政策を総合的に展開していくことが課題だ。

このほか、健康長寿の取り組みに関する質問をした。
健康づくりやフレイル予防に有効な運動の意識や動機付けができるように、さまざまな取り組みを実施するとの答弁をえた。



安心して子育てできる環境を

男女共同参画の推進は

町長 性別役割意識の是正が必要だ



おもしろいじ 近藤大介 議員

【近藤】男女共同参画の推進は、国にとっても本町にとっても喫緊の課題になっている。
先進的な兵庫県小野市の事例などを参考に、女性リーダー養成講座の実施や、自治会役員に女性を登用する自治会に助成金を交付するなど、積極的な推進をはかっているか。

成金を出すなどの施策を検討したい。
【教育長】女性が意思決定の場に出ることは必要なことである。社会教育の観点からも、今後どのような取り組みが有効か、男女共同参画の担当課と検討していく。

このほか、重層的支援体制整備事業について質問した。
地方の人口が減少するなか、地域共生社会の実現に向けた重要な課題なので、今後も継続的に取り上げたいと考えている。

【町長】大山町男女共同参画プランでは、令和8年に町議会議員を16人中5人にするなどの目標設定をしている。性別による役割分担意識の是正などが急務であり、女性が区長を務める集落自治会に助



女性議員を増やそう

臨時会

7月臨時会（令和5年7月14日）

財産の取得について1件、補正予算1件の2議案を可決した。

空き施設活用創業支援事業補助金

空き施設の解消、地域にぎわいづくり、および雇用機会を創出する事業を行う者を支援するもので、1件当たり500万円を上限とする。

【Q】1件分の補正額だが十分なのか。

【A】審査会での採点結果を考慮して1件分を計上した。

空き家を改修して創業する事業者の1/2補助する。上限は500万円だよ。



おきばんだ



開業準備すく助かりました。また、開業に向けての後押しになりました。
一杯一杯丁寧に作っています。ぜひ食へに来てください。
らあ池島(富長)

お知らせ
News

「議員と語る会」集落へ出かけます！

昨年に引き続き、今秋も各集落自治会の皆さまのもとへ足を運びます。

★開催日程・会場

11月・各集落公民館

★開催内容

メインテーマに沿った意見交換や、フリートークなどを行います。会の様子は、次回の議会だよりで報告します。

メインテーマ：「これからの買い物環境をどうするか」

*集落によって、その他のテーマをメインで話したい場合は、ご要望ください。

★問い合わせ・申し込み方法

・区長さんを通じて、大山町議会事務局へ
TEL: 0859-54-5213



西部町村議会議長会で功労者を表彰

令和5年8月21日、鳥取県西部町村議会議長会の研修会が開催されました。この中で、吉原美智恵議員と近藤大介議員が、通算18年以上の在職期間とその功労を評価され、自治功労者として表彰されました。



近藤大介 議員

吉原美智恵 議員

大山町議会の先進的取り組み、全国から視察が続々！

大山町議会は、全国各地の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れています。多くの自治体が、大山町議会のタブレットを活用した効率的な議会運営や、全国6位を獲得した「議会だより」などの広報活動に注目し、視察に訪れています。



鳥取県八頭町議会 令和5年8月9日 「タブレットを用いた議会運営について」
徳島県三好市議会 令和5年8月22日 「議会だよりの編集について」
北海道松前町議会 令和5年10月3日 「議会だよりの編集について」
鳥取県若桜町議会 令和5年10月6日 「議会だよりの編集について」

「議会改革」中間報告のハイライト

議員定数：16人の定数を維持

過去の変遷

平成20年：人口基準により2人削減

平成24年：多角的視点から3人削減

近隣町村とのバランスや、町民の声を幅広く反映するための議員数の必要性が強調されました。議会内では定数削減の意見も活発に出されましたが、最終的には現状維持が多数となりました。

議員報酬：増額の必要性あり

大山町議会は、今後想定されるなり手不足を防ぐため、報酬増額の必要性があるとして意見はまとまりました。ただし、鳥取県西部町村には「特別職報酬等審議会」が設置されており、この審議会によって町村議員の報酬は統一されています。報酬増とするためには、今後、西部町村議会議長会を通じての働きかけが必要となります。

ハラスメント研修

本議会では、令和5年4月に議長から受けた言動への抗議の要望書が届いたことを受け、研修の実施が検討されました。その結果、令和5年8月29日には、地方議会に関する講演活動で実績がある廣瀬和彦氏を講師として迎え、研修会を開催しました。

研修概要

① 政治倫理について

政治倫理審査会委員は議員以外がやるべき

議員同士で裁くことになるため今後の活動がしにくくなる懸念から、外部に頼んだ方がよい。

② ハラスメントの取り扱い

3つの要素を満たすとハラスメント

- ・優越的な関係を背景とした言動
- ・業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの
- ・労働者の就業環境が害されるもの

③ SNSの発信について

法的に抵触しなくても倫理観をもって

人権に配慮、過度な批判や意見しない、不要なシェアしない

大原広巳
(副議長)

ハラスメントに該当する具体的な行為やその影響、さらには議会としての適切な対応方法について詳しく学ぶことができました。今後はこの学びを生かし、より良い議会運営をめざしていきます。

用語解説 「ハラスメント」 いじめ・嫌がらせ、と訳される。広義には、人権侵害である。言動などにより、相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけること。

まの話題 「美ボディ講座」 12月2日9時30分～、講師:是澤 菜々子さん(LACEUPGYM所属インストラクター)、会場:御来屋漁村センター、問合せ:名和公民館(0859-54-2688)

議員の仕事ってなににするだ？



請願と陳情の違い

請願は陳情より確実です！

請願は法律で定められた権利であり、紹介議員が必要ですが本会議で必ず審議されます。陳情は紹介議員が不要ですが、本会議で審議されない場合もあります。



今回のテーマ

議会に要望を出してみよう！

住民から提出された具体例

不登校・ひきこもり児童生徒の支援拡充を求める陳情



いちご一會 親の会

自分達だけではわかりづらく、議員の方に手伝ってもらいすんなり提出することができました。

議会は
全会一致
で賛成

議会の意見

学校になじめない児童生徒の居場所として、選択肢にフリースクールを認知し支援すべきと考える。

その後、フリースクールの利用補助金ことができました！

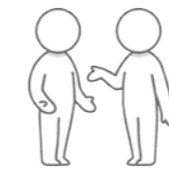
	請願	陳情
法的な定め	あり	なし
本会議で審議	必ずされる	されない場合もある
紹介議員	必要	不要

※受付期限は定例会開会日の前々日(休日を除く)の正午です。

要望提出までの3ステップ



① 地域で困ったことがある！
例) 道路に危険な箇所がある



② 議員に相談



③ 要望書提出！

議会と一緒に問題を解決しよう！

詳しくはお近くの議員か議会事務局までお問合せください！

議会事務局 電話:0859-54-5213

議員一覧はコチラ➡



大山 トリビア 「鳥追い」 1月6日の夜、まな板に七草などを乗せ、しゃもじや、すりこぎでまな板を叩きながら、「唐土の鳥が日本の土地に渡らぬさきに七草そろえて、ほーいほーい」などと歌い、豊作や健康を願う伝統行事。

まちの話題 「伯耆の白兔」 江戸時代の国学者・本居宣長の古事記伝にも登場する「伯耆の白兔」伝説。この春、自主組織「きばらいや上中山」がこの伝説を絵本にしました。図書館、公民館で読むことができます。

みんなのひろば 声

感謝の気持ちを大切に15周年

地域に根差す庄内道場

今年、創立15周年を迎えた庄内道場は、後藤順也さん・愛さん(押平3区)ご夫妻が中心となって運営されています。全国大会に出場する剣士も多く、活発に活動されていますが、一方で老朽化する練習場所に課題を感じておられます。



庄内道場

練習日/月・水金 午後7時～9時まで
場所/庄内体育館
入会・見学のお問い合わせ
090-7777-1741(後藤さん)



町内の保育園をまわって、剣道体験会も実施している。

現在の回員数は。

4歳から中学3年生まで、32人が参加しています。中には、境港市や琴浦町など、町外から通う子どももいます。

活動に際して、心がけていることなどあります。礼儀を重んじ、感謝の意を礼に表すことを大切にしています。

また、一人ひとりの個性を尊重しながら、その子に合った指導を心がけています。

練習場所の庄内体育館は、老朽化について、改修の予定もないのですが、

庄内という地名に愛着があるので、ずっとここで活動を続けたいのですが、いつまでもこの活動できるか、とても心配しています。

取材を終えて

少子化や人口減少が続くなか、公共施設の維持管理は、行政にとっても悩ましい課題です。限られた財源で、町民活動をどう支援していくか、大山町議会は、当事者の声にしっかりと耳を傾け考えていきます。

あとがき

酷暑の夏も終わり、秋風とともに大山の紅葉便りが届くこの頃となりました。広報常任委員会では、新しい小谷委員長のもと、町民の皆さんにわかりやすく伝わる広報をめざして、熱心な編集会議を重ねてきました。

久しぶりの委員会活動で、新人議員の熱量と技量に圧倒される毎日でしたが、微力ながら紙面作りに参加でき、充実した日々を送ることができて感謝しています。

これからは、委員一同、さらに広聴活動にも力を入れ、皆さんのもとへと飛び出していく覚悟です。皆さまのご意見・ご要望をぜひしお寄せください。お待ちしております。

吉原

- 発行責任者 議長 米本 隆記
- 広報常任委員会
- 委員長 小谷 英介
 - 副委員長 近藤 大介
 - 委員 吉原美智恵
 - 委員 大森 正治
 - 委員 大原 広巳
 - 委員 池田 幸恵
 - 委員 豊 哲也
 - 委員 西本 憲人

